

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 5社会教育総務費

◎社会教育施設の経費

明月荘管理運営事業

生涯学習課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

生涯学習:学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 明月荘を市民の社会活動等の使用に供することにより、地域社会の活性化を図るため。

効果 市民等に自由な学習の場を提供することができる。

【事業の内容】

(1) 明月荘管理運営事業

- ・明月荘の維持管理並びに施設利用業務などを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,905	3,105	2,853		252

主な支出内訳

・明月荘管理運営事業

明月荘光熱水費	244
各所修繕料	499
殺虫消毒委託料	87
管理委託料	693
機械警備委託料	268
庭園管理委託料	871
浄化槽清掃委託料	21

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-03 明月荘管理運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	165 明月荘管理運営事業					
主管課	生涯学習課	関連課					
分野名	生涯学習						
目標 (目標値)	市民の生涯学習活動の活性化を図り、利用率を向上する 利用率40% 開館率80%						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	利用者数	1,685人	1,544人	2,119人			
運営資源 状 況	決算値	2,853千円	2,788千円	2,757千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	2,853千円	2,788千円	2,757千円			
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人			
	人 件 費	1,796千円	1,811千円	1,818千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	4,649千円	4,599千円	4,575千円			
	市民1人当 りの経費	26円	26円	26円			
	対象者1人 当りの経費	2,759円	2,979円	2,159円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
変更なし						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
利用者数	○	目標値	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人
		実績値	1,544人	1,685人			
登録団体数	◎	目標値	100団体	107団体	110団体	110団体	110団体
		実績値	105団体	109団体			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
利用率	×	目標値	40%	40%	40%	40%	40%
		実績値	13.90%	13.80%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
開館率	○	目標値	80%	80%	80%	80%	80%
		実績値	64.70%	66.30%			
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 昭和10年に建築された建物であるため施設各所が老朽化し、施設の安全管理が問題となっている。 土地・建物ともに県所有であるため、対応が困難である。 大規模修繕は県が行うことになっているが、現在、県としての具体的な計画はない。 また、無料施設であるため、維持管理費等の経費の増加が市の負担となっている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 施設周囲の竹垣を強固な板塀に修繕し、防災・防犯に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 施設の老朽化が進み、現状のままでは利用者の安全管理に支障をきたすため、県への返還も検討しているが、代替施設の確保も課題となっている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 県からの借用期限が平成21年度末で切れるため、平成22年度以降の活用方針等についての結論を出す必要がある。 なお、現在、今後の活用方針等について県と本市の関係課で構成された「明月荘検討会議」において協議中である。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	県からの借用期限が平成21年度末で切れるが、今後の活用方針等について県と本市の関係課で構成された「明月荘検討会議」において協議を重ねていく。			
担当課長氏名:		菱田 恵子		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	今後の活用方針等について県と本市の関係課で構成された「明月荘検討会議」において協議を重ねていく。			
担当部名	生涯学習部	部長名	金川 剛文	